

11月25日正午必着

明石春浦先生書

心中有聲方能不無止時也勿以爲可
來去作無窮事事生所當知此亦是年
極矣予人之年一、此身生也

山中有一流水
轉來深澗滿

借問不知
分出小池平

映地爲天色
恬淡無二人見

飛空作雨聲
年年長自清

(儲光羲)

明石幸子書

忍耐とは希望をもつことの技術である。（ヴォーヴナルグ）

11月25日正午必着

忍耐とは希望をもつことの技術である。（ヴォーヴナルグ）

11月25日正午必着

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

丹楓葉落寒 (蕭國寶)

丹楓葉落ちて寒し

楓樹の紅葉が散って、いかにも寒ざむとしている。

雲歸時帶雨數點
木落又添山一峰 (陸游)

雲帰り時に帶ぶ雨數点
木落ち又添う山一峰

山に帰り行く雲は時にぱらぱらと雨を降らせ、林の木の葉が散って、もう一つ山の姿があらわれた。添は増し加え。

尋二陸羽不遇 (僧皎然)

陸羽を尋ねて遇わず

家を移して
郭を帶ぶと雖も

野徑入桑麻

僧皎然

桑麻に入る

近ごろ籬の菊を種えしも

秋來未だ花を着けず

える。

門を扣けども
犬吠ゆる無く

去らんと欲して

報じて道う

山中より出で

帰り来れば

毎に日斜なりと

古九谷の赤絵の鳥も
水仙の花もつめだし人待ちてあれ

(九条 武子)



三浦士岳先生書

半紙部規定課題A

11月25日正午必着

旅 南

游 國

尚

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

11月25日正午必着

行書

隸書

明石春浦先生書

冬日野望

于良史

地際朝陽満
天邊宿霧收

風兼殘雪起
河帶斷冰流

北闕馳心極一

南圖尚旅游
登臨思不已

何處可消憂

冬日の野望
地際朝陽満ち
天邊宿霧收まる

于良史



草書

行草書

地上見わたすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った

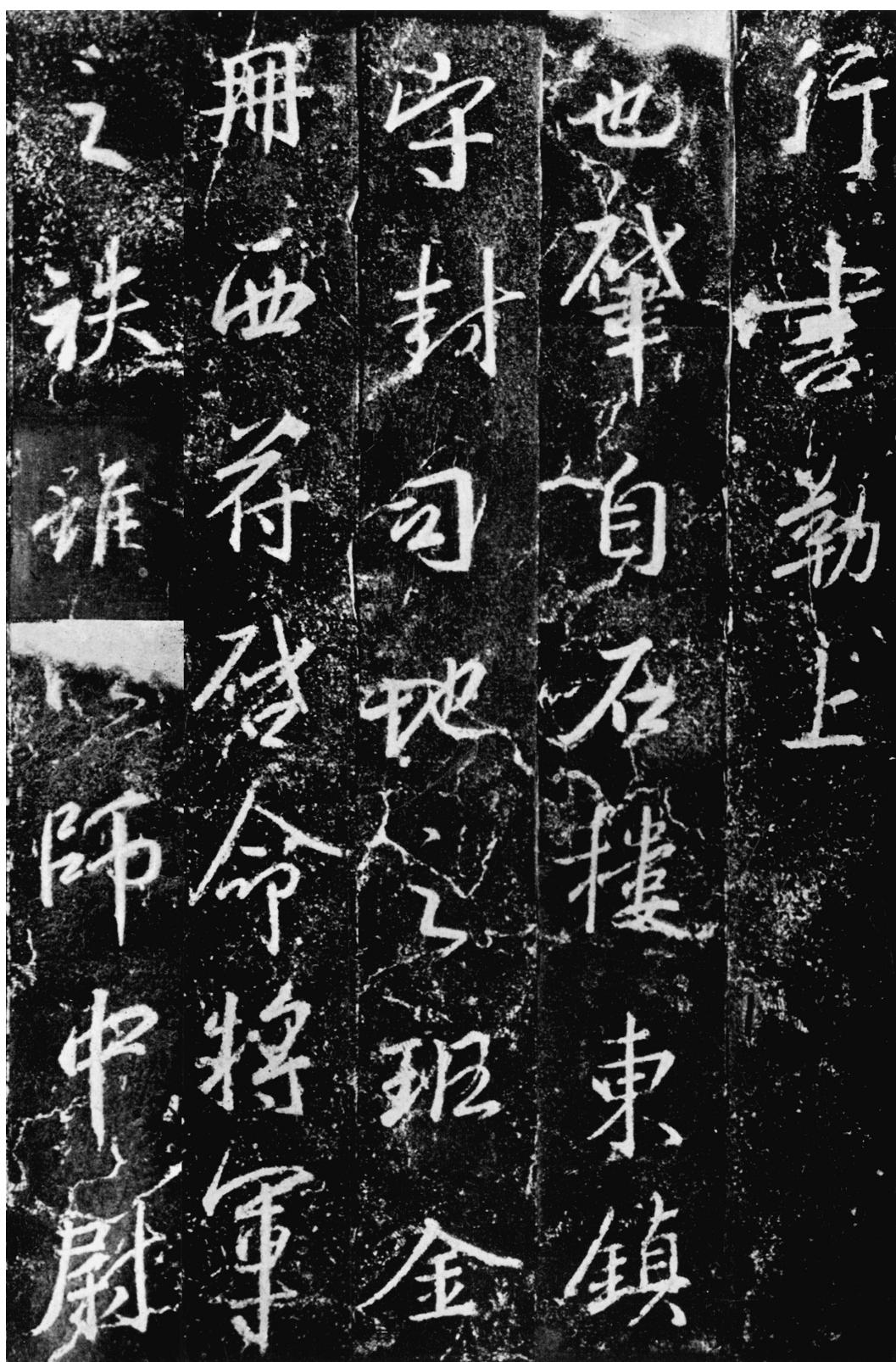
風は残雪をまじえつ吹き起り 河の水はくだけた氷を浮べつつ流れる

北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上

高みに上って見はるかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

※十月号半紙部規定手本の行草書「闕」の字に誤りがありましたが訂正してお詫び申しあげます。詳細はお手元の字典にてご確認くださいます。なお、十月号手本による競書応募作品につきましては、通常どおりの審査対象とさせていただきます。

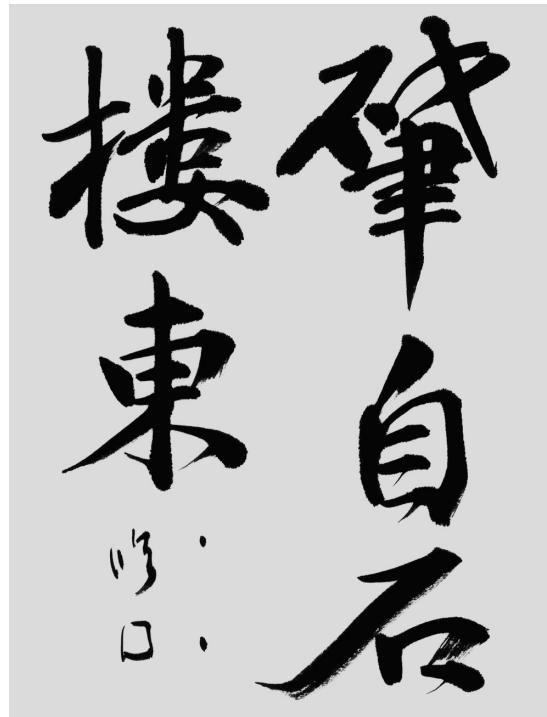
条幅部半紙部臨書課題



行書。勒上也。肇自石樓東鎮守。封司地之班。金冊西符。啓命將軍之秩。雖法師中尉。



肇自石樓東



王羲之・興福寺断碑

書聖、王羲之の書が、そのまま中国書の規範となつていったことは今更述べるまでも無いが、その大きな原動力となつたのは、法帖である。法帖は、歴代名人達の筆跡を鑑賞や学書の対象として編集されたものであり、その法帖が作られた頃の時代観、価値観なども如実に示されており興味深い構成となつてゐる。

王羲之の文字を集字し、碑文を構成した集字碑というものもある。その最も秀れたものに唐時代に刻された「集字聖教序」がある。その約五〇年後に刻されたこの「興福寺断碑」がある。この碑についての詳しい記録は残っていないが、唐の開元九年（七二一）沙門の大雅が建立したもので明代にその碑の下半部高さ約一メートル、幅約一・三メートル、三十五行）のみが出土した。

「集字聖教序」と「興福寺断碑」を比較していくと、前者の方が大小強弱の変化に富み作意に満ちている。行の流れも不自然さが感じられない。後者は、スケールが大きく、悠然と構えていて、古拙な味わいさえも感じさせる。王羲之の集字碑でありながら違った趣を見せる両碑を合わせて学ぶことにより、王羲之研究の手がかりが見つかることもしない。

(春龍)

11月25日正午必着

教育部毛筆

資地

源下

地下資源

中学一年

大經

國濟

經濟大國

中学二三年

雨宮春聲先生書

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸 春龍先生書

かぜ た
風 立 ち ぬ

小学五年



藤井 良泰先生書

やま どり
山 鳥 の 声

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

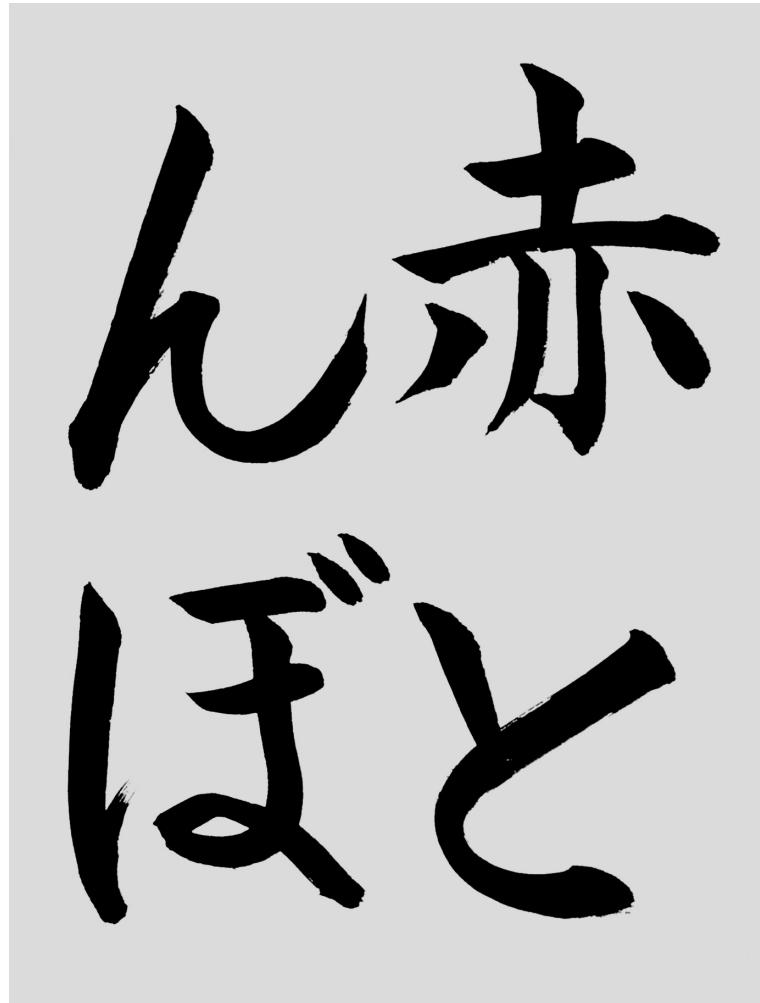
11月25日正午必着



むし
虫 か ご

小学三年

藤田幸春先生書



あか
赤 とんぼ

小学四年

細谷春誠先生書

A black and white photograph of a white bird, likely a gull or tern, standing on a light-colored surface. The bird is facing right, showing its profile. Its body is mostly white with dark wing tips and a dark patch on its upper wing. The background is plain and light.

二

五

小学一年·幼年

明石幸子書

も山

山

い も

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

11月25日正午必着

教育部 硬筆

ペン字部

古代マヤ文明はジャン
グルの中でさかえた

小学五年

山のおく深いところ
に空中都市がある

小学六年

目上の人と話すとナ
は敬語を使います

中学

谷間に吹く風は秋の
紅葉を川に散らす

一般(級位)

深山山路や
暁かけてなく鹿の
聲するかたに月ぞかたぶく (土御門院)
静かな月夜の鹿

一般(段位)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

もこと
うたりは
たが
すと
ききて

ばてい
きねい
いな
な字と

文は
明る
をさ
ぐく
るしの

がう
みら
つ山
から
た化
石

かつて
した
かつて
天空をめざ
文明があつた

幼年

小学一年

小学二年

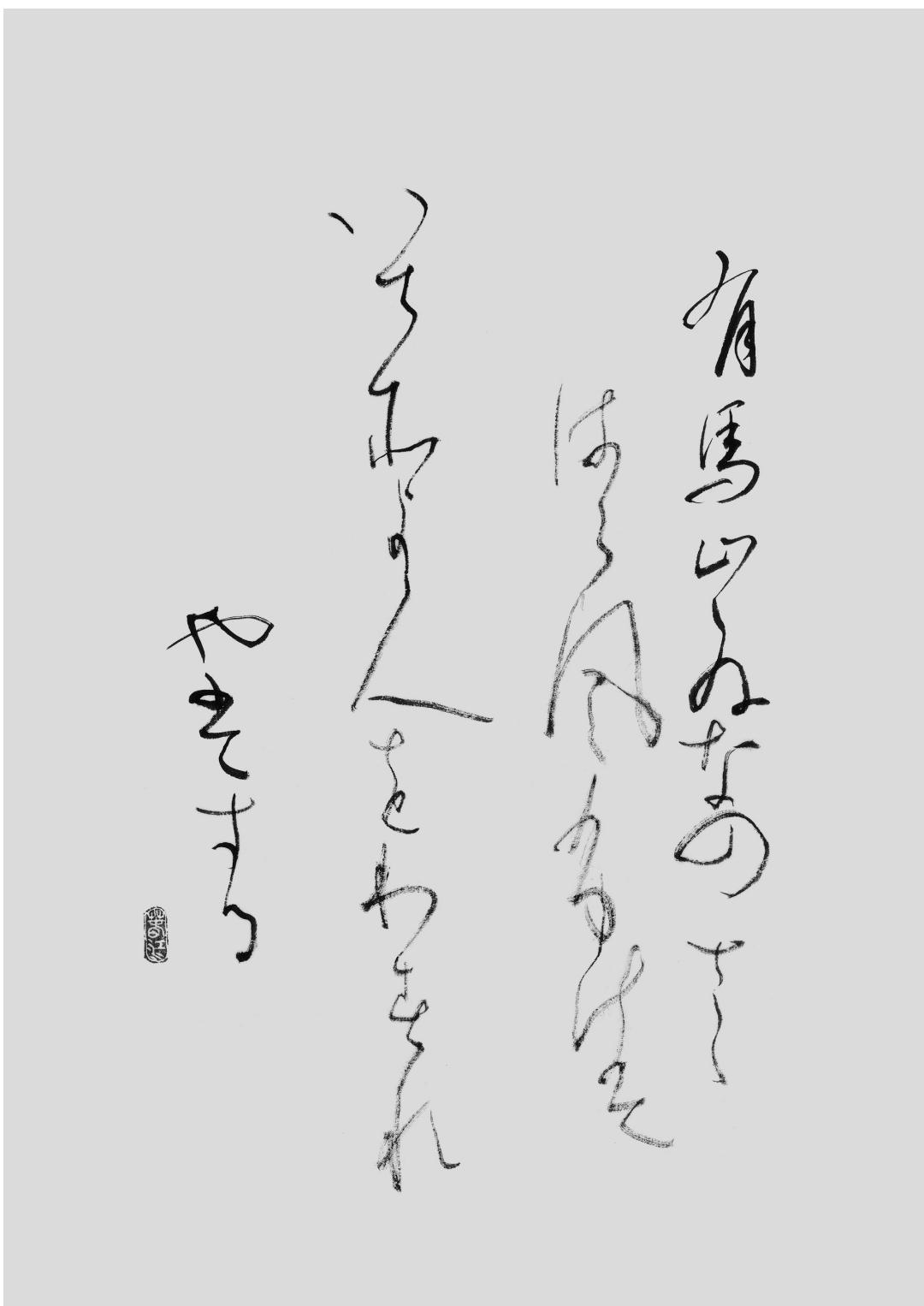
小学三年

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

11月25日正午必着



若本景楓先生書